

# 押小だより



令和4年1月11日  
さくら市立押上小学校  
令和3年度 第16号

## 迎春令和4(2022)年が皆様にとってよい一年となりますように 本年もよろしくお願いたします

令和4(2022)年がスタートしました。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も学校教育目標の実現を目指し、教職員一丸となって教育活動を展開してまいります。引き続き、保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。【ぜひ、本校ホームページもご覧ください⇒】

本校 HP



## 12/22(水) 総合学習支援活動「工業体験」

12月22日(水)、栃木県建設業協会建青会(塩谷支部)のご協力により、建設機械に触れる体験会を実施いたしました。校庭には、高所作業車やショベルカー、モーターグレーダー、タイヤローラーなど大型の建設機械「はたらくくるま」が大集合。子どもたちは、こうした建設業が、「社会を支える大切な仕事であること」や「テクノロジーの導入が進んでいること」「安全を第一にして仕事をしていること」といった視点をもって体験しました。いろいろな仕事がある中のひとつとして、工業に対する知識を深め、働く人たちの努力や工夫について学ぶ機会となりました。

ドローンで撮影した画像



子どもたちからは、「いろいろな はたらくくるまに乗れて楽しかった。」や「ドローンが安定して飛行しているのに驚いた。」や「実際にショベルカーを動かしてみて、レバーを動かすだけで大きな力が出るということを体験した。どうなっているのか知りたい。」などの声がありました。

日頃から校舎の大規模改造工事を見てきたせいか、関心をもって体験したからこそ出てきた意見だと感じました。関係者の皆様、貴重な体験の場を提供していただきありがとうございました。

## 12/21(火) 6年生 東京都墨田区の押上小とのオンライン交流

12月21日(火)の5時間目に、学校の名称が同じである東京都の墨田区立押上小学校と、オンライン交流会を行いました。両校の6年生が、互いの地域や学校の魅力などをモニター画面を通じて発表し合いました。

この企画は、墨田区の押上小 PTA 会長がコロナ禍でどこにもでかけることができない子どもたちに何か体験させたいと考えてスタートしました。そして本校 PTA の岩崎会長と会長同士で打合せを行うなど、できるだけ学校の負担を増やさないような配慮もありました。

オンライン交流では、互いに「押上という名称の由来」や「学校や地域の魅力」などを発表した後、質問タイムなどで親睦を深めました。はじめのうちは互いに緊張していたようですが、徐々にほぐれて笑顔が多くなっていきました。

交流終了後、本校児童からは「発表を聞いて、東京都や墨田区のよさがよく分かった。」「スカイツリーのある墨田区へ行ってみたい。」などの感想がありました。伝えることで、本校のよさやさくら市のよさ、栃木県のよさを再発見する良い機会となりました。



## 12/15(水) 花育活動「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」

12月15日(水)、「花育活動」の講師として、矢澤将紀さん(矢澤園芸)と、栃木県塩谷南那須農業振興事務所の担当者にお越しいただきました。この「花育活動」は「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」として実施したもので、栃木県の公式ホームページにも掲載されました。

矢澤さんからは、播種から出荷までの作業内容や、花壇への定植作業についてわかりやすく説明していただきました。説明後には、子どもたちから「ビニールハウスで育てる理由は何ですか?」や「ハウスごとに違う花を育てているんですか?」、さらには「矢澤さんは何種類くらいの花を育てていますか?」など、積極的に質問をしていました。どの質問に対しても矢澤さんはていねいに答えてくれました。

実際にパンジーとビオラ苗を花壇へ定植作業をする際も、ていねいに教えていただきました。



矢澤さん、そして関係者の皆様、本当にありがとうございました。子どもたちと一緒に大事に育ててまいります。「花いっぱい学校!」になりますよう、今後ともよろしく願いいたします。